

高松平和病院ニュース

〒760-8530 高松市栗林町1-4-1 TEL.087(833)8113(代表) HPアドレス：<http://www.t-heiwa.com/>
発行責任者：高松平和病院 院長 蓮井宏樹 編集：広報委員会 発行年月日：2018年10月29日

第7回「すずらんのつどい」



けど、先生や看護師さんが優しくて、印象がうなぎ上りに良くなりました。「入院中に母が亡くなりあの時から感情が止まったようです。誰にも言えなかったです…。半年過ぎましたが、まだ前向きになれません。前向きにならないといけないと思うんですけど、誰にも会いたくない日も多いです。でもそんな時に今回のお手紙が届いたので、来てみました。」など、会話が途切れることなく話が盛り上がりました。

その後、臨床心理士の村上治先生から「悲しみと付き合うためには」というテーマで、東日本大震災のボランティアとして訪れた際の話を含めて話してくれました。

そして、蓮井院長が「千の風になって」を歌い、原田医師はスタッフと共に「糸」を演奏しました。最後には「上を向いて歩こう」を皆で合唱しました。「蓮井先生は診察の時と声が違う。本当にいい声。」「先生たちの歌がよかった。」と話す声が聞こえました。

ご家族からいただいた感謝の言葉は、スタッフの励みになりました。指摘されたことも含めて、今後のケアに生かしていこうと思います。

ご家族からいただいた感謝の言葉は、スタッフの励みになりました。指摘されたことも含めて、今後のケアに生かしていこうと思います。

7回すずらんのつどい



平成30年9月1日に第7回目のすずらんのつどい(緩和ケア病棟遺族会)を開催しました。

今回は、11家族16名のご家族の方々が参加されました。医師、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカー等のスタッフが数名ずつ分かれ、ご家族の方々とテーブルを囲み、故人の思い出や入院中の様子を振り返りました。ご家族の皆さんは初対面の方向士でしたが「1年くらい気持ちの浮き沈みはあったけど、やっと前向きになれました。なので、今日は先生や看護師さんに会いに来ました。主人の日記を読んだときに、部屋でボランティアさんが歌ってくれたのが嬉しかったと書いていました。本当に最後まで苦しまなかったと思います。最初、平和病院の印象はなかった



高松平和病院 理念

1. 患者の権利を守り常に信頼される医療を提供します。
2. 健康づくり、明るく安心して暮らせるまちづくりに貢献します。
3. 平和と医療、福祉を守ります。



へいわまつりが盛大に開催される



10月7日(日)にへいわまつりが開催されました。今年は台風の影響で最終判断ギリギリまで開催すべきかどうか迷いましたが、結果的には暑いくらいの天候で、昨年より100名以上多い505名の来場者でした。

今年は実行委員会に組合員さんも参加していただき、職員と一緒におまつりを盛り上げようとして取り組んでまいりました。昨年の良かった所と改善した方が良い所を実行委員会で話し合い、色々変更点を検討しました。大きな変更点は、「ステージ場所の変更」と「抽選会の変更」です。昨年のステージは会場西側に設置しましたが、入院患者さんが病棟から見えなかったという意見があったので今年は南側に設置したところ、病棟窓際からたくさんの入院患者さんがおまつりを見られている光景になりました。抽選会は、今年はガラポン抽選会にしました。これにより来場者全員に抽選をして頂きました。とても強運な方が開始早々に一等を当ててしまう結果となりましたが、多くの方から好評を頂きました。組合員さんが中心となって取り組んでくれた「もちつき」も好評で、今年は量も増やしたくさんの来場者におもちを振る舞うことができました。その際、募金を呼びかけて14,303円集まりました。

へいわまつりは復活してまだ2回目なので改善点などの課題は多く残っていますが、来年以降も職員と組合員さんで一緒に取り組み、参加者全員が笑顔になれるへいわまつりが開催できれば良いなと思いました。

(へいわまつり実行委員会 事務局 二川)



夏休み高校生医療職体験

香川民医連では、毎年夏休みに医療職をめざす高校生を対象に医療職体験を開催しています。今年も医師・看護師・薬剤師の体験を高松平和病院・高松協同病院・栗林公園前薬局で開催し、計14日間でのべ168名の高校生が参加しました。

医師体験は、今回で40回目の開催となりました。1日の受け入れ人数を少数に絞り、参加者が少しでも多く医師と交流できるようにしています。

薬剤師や看護師体験でもその職種のことを多く知ってもらうために様々な工夫をしています。1例として今回は医師体験の内容をご紹介します。



外来診察見学のようす

【医師体験の主な内容】

- ①ベーシックコース…初参加用。院内見学や外来診察見学、医療機器体験等。
- ②ステップアップコース…2回目参加者用。手術室見学や患者さんとの交流。
- ③アドバンスコース…3回目以上参加者用。希望に合わせて、小児科集中コースか訪問診療同行コースを実施。

また医師体験以外にも、毎年10月と2月に医学科受験模擬面接を開催しています。香川で医療職の道を目指す人がひとりでも多く増えるよう、これからも私たちは高校生を応援していきます。



患者様の身体介護のようす



薬局見学のようす

病院機能評価認定病院

当院は、公益財団法人日本医療機能評価機構が定める認定基準の更新審査を受審し、2018年6月16日付

「病院機能評価認定病院 3rdG:Ver.1.1」の認定がなされました。これは第三者機関(公益財団法人日本医療機能評価機構)より認定されるもので、審査を受け、病院の機能、安全管理体制、療養環境などが一定の水準に達していると評価された証です。

有効期間は5年間となっているため、認定を継続させるためには、5年おきに審査を受けることが必要となり、おのずと質を維持・向上させることが求められます。

「より良質な医療・看護の提供」を目指し、日々取り組んでいる当院では、このような第三者による評価を受けることで、さらなる改善、向上を図っています。

今後も医療の質向上を目指し、これからも職員一同、より一層の研鑽に務めてまいります。



職場紹介

連携相談室

連携相談室は病院1階のエレベーター横にあり、看護師2名、医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)3名、事務1名の計6名で業務にあたっています。

下記のような業務を行っています。

- 病院・診療所・施設から平和病院への転院や、受診予約の窓口(地域連携業務)
- 疾病により起こるさまざまなこと(障害や経

済的問題、仕事、家庭、介護など)に対して、医療ソーシャルワーカーによる相談・支援(医療福祉相談)

- 入院患者様の退院支援を主治医・病棟ともに医療ソーシャルワーカー・退院支援看護師による相談・支援(退院支援業務)
- 介護保険導入や、ケアマネージャーさんと情報共有、リハビリスタッフとも協力して退院前自宅訪問など退院支援(退院支援業務)
- 緩和ケア病棟への入院希望があるときに相談(緩和ケア相談)

これからも連携相談室は地域に開かれた高松平和病院の窓口として、医療・介護・福祉の分野での連携を推進し、治療から療養に向けた援助が円滑におこなわれ、来院される患者様、紹介して下さる地域の医療・介護・福祉施設などの方々が安心満足いただけるように取り組んでいきます。

